

2019年3月27日

JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA)

農業機械・分科会

(グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会分野別研究会
(農業機械))

<第1回分科会のご案内>

1. 分科会設置の背景・目的

この度、JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA) の活動の一環として、“農業機械”に焦点をあてた分科会を立ち上げることになりました。第1回分科会として、まずアフリカ地域の農業機械を取り上げます。

アフリカ地域は、他地域に比して農業機械化が進んでおりません。中でもサブサハラ・アフリカのコメ産業は、農繁期における労働力不足及び精米時の碎米や夾雑物の問題など、生産性及び品質に課題を抱えており、機械化の効果が大きい地域とされていることから、農業機械メーカーや収穫後処理施設(精米機等)メーカーの潜在的な市場として見込まれていると言えます。

ただし、本邦メーカーの機械は、中国やインド企業製の機械に比して性能や耐久性で優れているものの、概して初期費用が高く、市場への浸透に苦心しているのが実態と考えております。初期費用こそ他国メーカー製に比して高いものの、その性能とライフサイクルコストの優位性をユーザーが認識することが出来れば、本邦メーカーの機械が一定のマーケットシェアを確保することにつながるものと期待されます。そのため、我が国の協力スキーム(技術協力事業や無償資金協力など)を通じて本邦の機械を導入し、現地ユーザーが本邦メーカーの機械の性能や耐久性を認識する機会を設けることは、その後のビジネスベースでの本邦機械の市場浸透に有効であるとみています。

これらから、今般 JICA では調査を通じてサブサハラ・アフリカにおける農業機械の活用状況や本邦メーカー機械の優位性を確認し、ODA 事業において本邦メーカーの農業機械を活用するための具体的な方策を検討することにしました。

第1回分科会では、セネガル、タンザニア、コートジボワールの現地調査の結果をご報告し、サブサハラ・アフリカにおける農業機械化の促進、および途上国への事業展開を目指す農業機械の業界団体、大学・研究機関、農林水産省及び JICA 等との意見・情報交換を行います。

なお、本分科会は農林水産省が実施している、グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会分野別研究会(農業機械)との共同開催とします。

2. 第1回分科会プログラム

(1) 日 時 : 2019年4月25日(木) 13:40~14:40 (受付 13:20~)

(2) 会 場 : JICA 研究所 2階大会議室

(3) 内容 :

- 出席者紹介 (5分)
- 本分科会の趣旨説明・2019年度分科会活動計画案 (5分)
- JICA「アフリカにおける本邦企業の農業機械の活用にかかる調査」の概要説明 (15分)
- 質疑応答・意見交換 (35分)

(4) 本件照会先 : JICA 農村開発部第5チーム 課長 野口伸一
(Noguchi.Shinichi@jica.go.jp、Tel:03-5226-8406)

以 上